

諏訪神社

上新田の諏訪神社は、建御名方命（たけみなかたのみこと）を祀り、通称「お諏訪様」という。

延享3年（1747）に、「お代官」柴田伝右衛門豊忠によって創建されたもので、本殿は嘉永5年に再建され、ご神体は白幣三体で、本殿背面に柴田家の家紋である「下り藤に三つ引き」の紋が付けられている。境内にある薬師堂は「目の神様」と伝えられており、薬師如来立像と観音菩薩立像が安置されている。もとは神楽殿であったとのこと。

諏訪神社の大祭は、8月第4土曜・日曜に行われ、一日目は「夜祭典」、二日目は「本祭り」が行われる。奉奏されるお囃子は、かつては太鼓連だったが、昭和58年頃より諏訪神社屋台囃子保存として受け継がれている。

